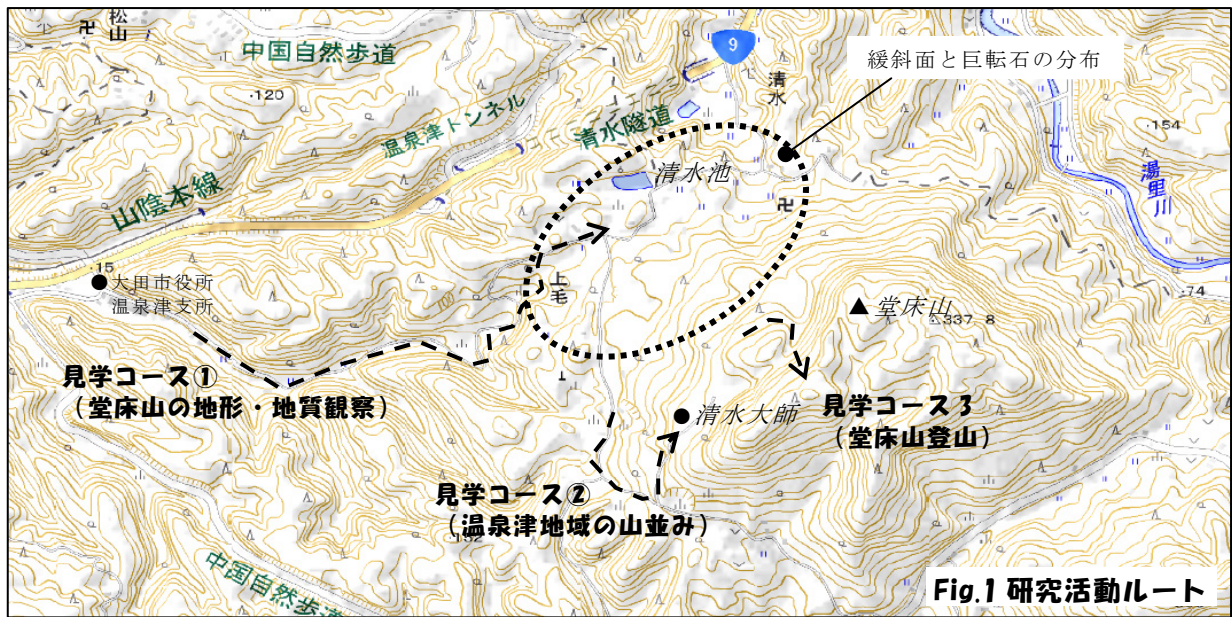


1. はじめに

石東地域に埋もれた地形・地質を活用した地域活性化や地域貢献を目的とした本分科会では、今回、温泉津地域周辺にて研究活動を行いました。11月に訪れたのは温泉津町にある堂床山とその直下の巨礫群の散策と福光石の石切場見学を行いました。

今回は、「小学生が遠足で歩ける」ことを念頭におき、スタート地点である大田市温泉津支所から、主に徒歩で移動しながら研究活動を行いました。



2. 堂床山の地形・地質観察（見学コース①）

堂床山は、温泉津町の国道9号にある清水隧道のやや南に位置する標高338mの山体で、定高性のある山頂部と周囲の急峻な山腹斜面、山麓の緩斜面が特徴的です。山の地質は複雑で、新第三紀久利層の火山岩類を覆う都野津層（半固結状の泥・砂・礫等の堆積物）とさらにそれらを覆う大江高山（東南東に約7km離れた第四紀の火山）の火山噴出物でできています。

堂床山の北西斜面はえぐられたような急崖があり、その直下に広がる緩斜面に巨大な転石が大量に分布しています。転石は径4～5mあるものもザラで、単独で転がっていたり、地面に埋もれていたり、微妙なバランスでいくつも積み重なって停止したりして、各地に散在しています。

言い伝えでは、堂床山で1539年（天文8年）に山崩れ（山津波）があったと言われています。

過去に巨大な転石群を生み出したイベントがあったことを容易に想像させられる見学地となっています。



Pic.1 堂床山遠景



Pic.2 北西急崖



Pic.3 緩斜面の転石群

堂床山北西山麓には大きな溜池（清水池）があります。転石群と緩斜面の存在から、一説では清水池は過去に起きた山体の崩壊による岩屑なだれで河道閉塞され形成された池と言われています。

清水池には“巨大な地震や山崩れで岩や土砂が谷間を埋めて形成された”という伝承もあるそうです。ときおり池底からは樹幹等が発見されるそうです。

あくまで一説に過ぎないですが、堂床山を眺めながらこうした言い伝えを紹介することで、興味を掻き立てられるものとして印象に残るのではないかと思います。



Pic.4 清水池

3. 温泉津地域の山並み（見学コース②）

温泉津地域周辺では青々とした日本海をバックに、標高 60m 程度の平坦な山頂部をもつ都野津層の堆積面が一面に広がり、福光川に開析された谷が見事な地形的コントラストを生み出しています。この景色を一望できるスポットが堂床山の中腹にあるお寺、“清水大師”にあります。



Pic.5 清水大師から温泉津を望む



Pic.6 清水大師庭園



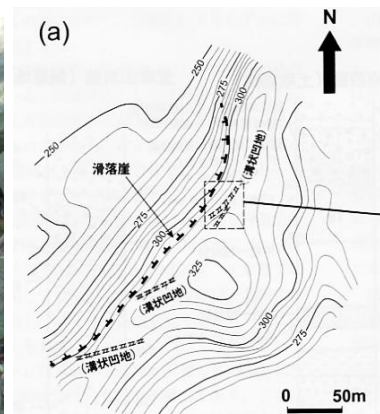
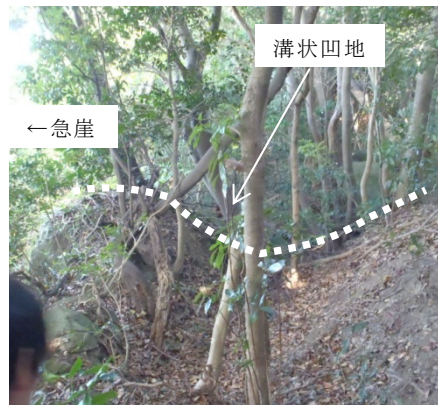
清水大師には転石群を自然のまま取り込んだ庭園があり、昼休憩にぴったりの場所です。“お寺カフェ”という、お寺でお茶や食事が楽しめる一風変わった施設もあり、そこは旬の食材を使った料理を頂くことができます。

自然の大スケールを感じながら旬の味覚を味わえる休憩地です。

4. 堂床山登山（見学コース③）

清水大師裏手の急崖から堂床山山頂部へ直接登ることができます。巨石がさらに高密度で分布し、急斜面も手伝って、登山は決して安全とは言えないものでした。

頂上では急崖直上付近で、幅 1~2m、延長 10~20m 程度の溝状凹地が崖面に沿って分布していることが観察できます。この凹地は、重力による崖方向への引張によって発生した開口亀裂の可能性が高いと考えられます。急崖斜面では浮石状の巨石も多くあり、豪雨や地震をきっかけに崩壊しかねない危険な状況を肌で感じることができません。ここでの観察は、理科教育や防災教育の教材として活用できると思います。



Pic.8 頂上部の溝状凹地

Pic.9 浮石状の巨大な岩

Fig.2 1

5. 福光石の石切り場見学

堂床山下山後、福光石の石切場までは車で移動しました。福光石は吸音性があり、水に濡れても滑らない特徴を有しているので、床材に適した石材です。

地質的には“グリーントフ”という新第三紀の凝灰岩に分類され、名前のとおり、淡い青緑色をしています。

福光石の石切場見学で驚かされたことは“石切場の美しさ”です。石切場では岩盤の“目”に沿ってブロック状に石材を切り出しています。これが鍾乳洞を彷彿させるような景観と、グリーントフ独特の薄い青緑色の壁面と透明感のある薄緑色の水面を作り出し、全体に優しく神秘的な雰囲気が醸しだされていました。



Pic.9 神秘的な石切場

6. 終わりに

今回の研究対象は、地形・地質のおもしろさや不思議さを感じることでできる素晴らしい地域資源になるものと確信できました。実際に歩いた感想からいうと、今回のルートをもそのまま遠足で歩くことは難しいと感じましたが、各サイトのもつ魅力をうまく活用することで地域の活性化や理科教育の推進に寄与できるものと思います。

※出典：島根県中部、堂床山北西急崖の構造と山麓の岩屑なだれ堆積物
島根大学地球資源環境学研究報告,30,p.82~92(2011)